

ジュゴン Vol.74

# ちゃんぷるニュース

**SDCC** 2014. 5. 27  
Save the Dugong Campaign Center

## CONTENTS



- 2/3 ボーリング調査反対
- 情報公開と外来種対策を要求
- 4/5 座り込み10周年海上パレード
- 出張授業報告
- 6/7 ジュゴン連続学習会
- コラム
- おきなわ便り

「日本には欧米などにはない観念、アニミズムが残っている」 民俗学者の谷川健一先生はすべてのものの中に靈魂が宿り、森羅万象へ対する「親和力」が日本人は強いと書いている。日本各地で海の神をまつらぬ海村はなく、山の神様をまつらぬ山村はないという。かつて、もっと人間と動物が密接だった時代は動物たちの中にさまざまな「意味」を発見してきた。

夜明けや夕暮れに鳥や獣の鳴く声を聞けば、そこに運命を予兆する深い神秘があることを疑わず、一定の期間を置いてやって来る渡り鳥や回遊魚は神の使いの訪れであると信じた。その中でも人間によく似たジュゴン、あまりの類似ぶりに人は心を動かさずにはいられず、海の中にいる魂「海 靈」ヨナタマと呼び、神の使いとして海の信仰の中核に坐していたことは察しがつくという。

しかし、そんな日本も文明の進化で山は切り開かれ、谷は埋められ、人間は山野に住む動物たちとの共存の場を失ってきた。そして今、辺野古の海を埋め立てようとする人達がいる・・・。

# 神・人・自然

惜しくも谷川先生は去年亡くなられた。亡くなる1か月前に読むように勧められた本が宮脇昭さんの「鎮守の森」だった。この本は東日本大震災のだいぶ前に書かれた本なので、阪神淡路大震災の時の事を例にあげ、その土地本来の森であれば火事にも地震にも台風にも耐えて生き延びると、近年に最新の技術と莫大なお金をかけて造られたはずの高速道路も新幹線の高架橋も無惨に倒壊したが、神社の森はちゃんと残っていた。ペシャンコに潰れた家々があるなか、すぐそばに土地本来の樹木が1、2本あったところでは屋根や柱がひっかかり、すき間ができて逃げ出すことが出来たと書かれていた。

私は、やはり木には魂が宿っていて「なにくそ～」と踏ん張ったに違いないと想像してみた。どうやってたってお金で魂はつくれない。以前折り紙ジュゴンにもらったサインには「海神の使者・よなたま（海靈）谷川健一」と書かれていた。

(沖縄 佐渡山裕美)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



ジュゴン折り紙に「海神の使者」と書いて掲げる民俗学者の谷川健一さん（本面）



座り込み10周年目に行われた辺野古の海上パレード (4&5 面)

情勢

# 「海草藻場、サンゴを破壊する 海底ボーリング調査に反対します」



## <埋め立て焦る安倍内閣>

安倍内閣は来春の着工予定を早め、11月沖縄県知事選挙までに埋め立て工事を始めるとしています。知事選挙を乗り切る自信がないからです。体調が悪い仲井真知事に3選出馬をもとめています。沖縄防衛局が辺野古漁港の使用など6項目の許可申請を一方的に期限切って名護市に出した理由がそこにあります。名護市が申請書類の不備を指摘し再提出を求めると、「市の許可は不要」と法治国家の枠をはみ出す強権的な態度を繰り返しています。地元からの批判の高まりで、漁港の監督官庁・水産庁すら「市の許可が必要」と言わざるを得なくなっています。沖縄防衛局は5月末に海底ボーリング調査の業者決定、6月から21地点の掘削を予定しています。台風シーズンまでにボーリング調査を終えたいからです。政府の思惑通り進んでも、実施設計業者の決定、図面作成に数カ月しかありません。米国防総省は「日本国内の事情は理解しているが、高い技術を要求する代替施設の建設は慎重を期する必要がある」と危機意識を持っています。(沖縄タイムス5月12日)

## <稲嶺訪米と本土での闘い>

稲嶺名護市長は5月15日から二度目の訪米をしました。今年1月にノーム・チョムスキーやオリバーストーンらが発表した「辺野古移設反対」声明と連携して、米国民に「美しい海を埋め立てて、基地建設に30億ドル使う無意味さを訴える」ためです。SDCCも賛同している第5期沖縄意見広告運動は、ワシントン・ポスト紙電子版に19日から21日まで意見広告を出します。同時期に、ヘリ基地反対協やSDCCスタッフらも訪米して、2009年12月に米国海洋哺乳類委員会(MMC・政府機関)総会に参加し、要請した「(ジュゴン訴訟の判決をふまえて)辺野古基地建設が与えるジュゴンへの影響を分析する」(MMC年次報告)ことを働きかけます。米国連邦裁判所のジュゴン訴訟判決をふまえて、埋め立て差し止め訴訟を進めるためです。

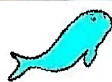
本土での闘いも重要です。今こそ、外来生物対策やジュゴン、サンゴなどの環境保全を沖縄県や沖縄防衛局に要求することが重要です。沖縄防衛局は環境監視等委員会の議事録をHPに公開しました。私たちが4月政府交渉で確認したことです。議事録では、外来生物種対策やジュゴンの餌場(辺野古・大浦湾)への影響と対策、サンゴの移植などについて世論を意識していることが明らかです。また、環境省は生物多様性のための有識者会議で辺野古・大浦湾を重要海域として選定しました。私たちは「重要海域から保護海域へと高める運動を強める必要があると思います。」



写真:琉球朝日放送

新基地建設の影響検証を  
ジュゴンの保護求め

市民団体 MMC訪問で会見  
県庁記者クラブ



## 「秘密保護法反対～環境団体もネットワーク設立」

4月6日、秘密法に反対する全国ネットワークが名古屋市内で第1回全国交流集会を開き、26団体、160人が参加しました。「自律性・自主性を大事にしながら手をつないでいくこの運動は、…必ず成功するでしょう」「秘密法をロックし、廃止する運動を、ともに闘いましょう」とのアピールを出しました。同日、大阪市内で「守れ憲法!許すな秘密保護法!関西集会」が1500人の参加で成功しました。また、「秘密保護法廃止を求める環境市民団体全国ネットワーク(略称:NECOTAP[ネコタップ])」も発足しました。環境保全をすすめる立場から秘密保護法廃止を求めて、全国の環境市民団体が連携するために設立されました。この呼びかけに答えて、SDCCも参加しています。



5/6 大阪梅田・泉の広場でのアクション

毎月6日に、関西各地でデモ・アクションが行われています。

# 「4月18日政府交渉 ～ 情報公開と外来種対策を要求」

防衛省では「侵略的外来種アルゼンチンアリについては重要な指摘なので沖縄防衛局に伝える」との昨年11月の回答をふまえて追及しました。ところが、前回とは別の課長補佐が対応するなど、その無責任さを厳しく批判し謝罪させました。以下2点を確認しました。一つは、沖縄県が埋め立て承認の条件とした「各分野の専門家・有識者から構成される環境監視等委員会」での議論をウェブサイトに公開すること。二つ目に、アルゼンチンアリが混入するなど環境に影響を与える埋め立て土砂を使わないことを業者契約書に明記すること。

午後からの環境省では、昨年6月法改正された外来生物法でのアルゼンチンアリ対策を求めましたが、環境省は「輸入物資については検疫で業者規制ができるが、国内に定着した外来種の規制は対象外」と居直り、「外来種が混入した埋め立て土砂を供給すれば、駆除に莫大なコストがかかるから対策をするに違いない」と防衛省をかばい、業者任せの姿勢に終始しました。

外務省では日米地位協定をふまえて、防衛省が提供区域内で埋め立て工事を行う際には、米軍の承認が個々に必要であることを確認しました。米国連邦裁

判所で沖縄ジュゴン問題が係争中なので、米軍が防衛省に使用を認めることは極めて困難です。重要な局面である6月末に沖縄防衛局交渉を予定しています。

(事務局 蛭川義章)



防衛省、環境省、外務省の3省と交渉しました。各省とも施設内に入るには、左のような、入構証(立入証)を首から下げる必要があります。

## 大阪で第14回SDCC総会を開催しました



3月30日、大阪で第14回SDCC総会を行いました。

まず海勢頭豊共同代表から「名護市長選挙で稲嶺さんが勝った。平和の神ジュゴンを守る活動が大切」と挨拶。

そして吉川秀樹国際担当より「ジュゴン訴訟」について発言。この訴訟は米国家歴史保存法(NHPA)に依拠して、日本の文化財(天然記念物)であるジュゴンの生息環境を米国の行為によって破壊してはならないことを求めています。カリフォルニア連邦地裁は米国を基地建設の当事者としてみとめ、2008年、新基地のジュゴンへの影響について米国防総省に報告を求める判決をだしました。

「訴訟を再開するための『申し立て』を行う。再開されれば、ジュゴンの保全策を示さない限り、米国防総省は、日本政府に基地建設のために提供海域への立ち入りを許可することができない。」と、吉川さん

は訴訟の意義を強調しました。

基調では署名運動と政府交渉など埋め立て中止とジュゴン保護の方針を確認しました。

(関西 松島洋介)



会場：豊中市立環境交流センター

# —4. 19ボーリング調査阻止・座り込み10周年海上パレード&集会—

## 真っ青な夏空の下、辺野古の海に 「埋立は許さんぞ！」の声が響いた

10年前の4月19日夜明け前の暗闇の中、新基地建設に向けたボーリング調査が強行されようとした。泊まり込んでいた多くの住民・市民が抵抗し追いつめた。その日から始まった海岸での座り込みと海上阻止行動。

今、また日本政府が新基地建設に向けた準備を押し進め、県民・市民の意向を無視し、抵抗に対する弾圧姿勢も見せながら工事の強行を画ろうとしている。



500人近い市民が辺野古の浜に。報道陣に交じってあの「標的の村」の監督三上智恵さんの姿も。沖縄平和キャンプの打ち合わせに来沖している京都ぶどうの木保育園の保育士さんたちと海上へ。海上デモの漁船は7隻、そしてこの日再結成されたカヌー隊が13艇。船とカヌーが連なり基地建設反対の幟が辺野古の海を取り囲む。美しく透き通る穏やかな海に「埋立許さない！」のシュプレヒコールが響く。

一方、辺野古浜では決起集会。New Wave to HOPEの若者たちの参加も見られ、「この10年間いや17年間子や孫たちの未来のためにこの美ら海を守り続けてきた。これは私たちの誇りであるとともに連帯の証である。」ことを確認し、「仲井真知事に埋立承認撤回を求め、新基地建設断念、普天間の閉鎖・撤去を求め、ジュゴンの棲む生物多様性豊かなこの海を子々孫々に継いでいく。」ことを誓い合った。(沖縄 高垣喜三)



「わびあいの里」謝花悦子さんから託された「伊江島土地を守る会」の旗がはためく

## 「オバマ大統領に異議申し立て 辺野古新基地建設NO！市民集会」

4月21日、連合会館で「オバマ大統領に異議申し立て 辺野古新基地建設NO！市民集会」が開催され参加しました。会場は300人の参加者で満席でした。

沖縄等基地問題議員懇談会を代表して近藤昭一衆議院議員から連帯挨拶のあと、高野孟さん（東アジア共同体研究所理事）の「オバマの来日と集団的自衛権」と題し、集団的自衛権議論の迷走や、冷やかなオバマの来日姿勢などの政治状況を語る講演でした。

沖縄からのアピールは、伊波洋一さん（元宜野湾市長）から4/19の辺野古で取り組まれた座り込み10周年集会の様子と米軍のグアム移転の変遷を、大城悟さん（沖縄平和運動センター事務局長）から11月の知事選挙に向けた沖縄の状況を話されました。報告の最後に、花輪伸一さん（JUCON）が「米国ジュゴン裁判」の説明と、ジ

ュゴン裁判訴訟の再開と工事差し止め訴訟を準備している事が報告されました。最後に、辺野古新基地建設を米国政府が撤回することを求める「オバマ大統領への申入れ文」が読み上げられ、新基地建設阻止を頑張ろうと確認しました。

(首都圏 矢敷克子)



# ～アースデイ東京2014～



毎年何万人もの来場者があるアースデイですが、今年はなんと 12 万人の人出でにぎわいました。首都圏、関西両事務所が一緒にブースを出すようになって早 6 年目です。多くの人との出会い、そしてスタッフ同士の交流の場ともなっています。アースデイでデビューしたスタッフからの報告をお届けします。



## 今年も寒かったアースデイ☆

何年か前、ピースボートの手伝いで脱原発鯉のぼりを売り歩いた時も大変に寒かった記憶がありますが、今年早期退職して最初のボランティア活動に選んだジュゴン保護キャンペーンのテントでも明日はダウンジャケット必至！と思いながらの初日でした。そう、私、新顔の中矢と申します。よろしく。で、今年のブースはケヤキ並木の中程で、隣が祝島、後ろが高江、お向かいが被災地のわんこの里親求む、といった配置でありました。代々木から原宿に抜ける通りなので、アースデイ目当ての人もそうでない人もひとの通りは良く、常に対応に追われていた感じでした。関西組の応援も万全で、人手は十分、と実は私、抜けて行っては自然化粧品やインカの天日塩やフェアトレードのチョコレートやガーナのシアバターや祝島のかたくちいわしなんかを買ってまわっておりました。我がブースでも買いましたよ。シルバーのジュゴンペンダント、定番のジュゴン手作り



マスコット2頭、それから店に出す前に内輪で売ってしまったちっこいシーサー顔の焼き物。これは絶対に売れるので来年には大量発注しておくと思います。署名も順調に集まり、会員のみならずともいっしょに楽しく活動ができて、大変有意義な週末でありました。  
(首都圏 中矢里枝)

## 4月27日、出張授業で「ジュゴンのぼり作り」



きしわだ自然資料館に出張授業に行ってきました。岸和田といえばだんじり！商店街にだんじり専門店がありました。子供の日に合わせて初の試み「ジュゴンのぼり作り」をやりました。友達同士で、親子連れでと十数名の参加者があり、前半は「ジュゴンって知ってる?!」のお話、そしてジュゴンクイズに挑戦してもらいました。後半にジュゴンのぼりづくり。材料は自然資料館さんが色々と準備してくださって、子どもたちは大喜び。大・中・小と折り紙でジュゴンを折り、棒に結び付け、土台を飾りつけていきます。それぞれ自由に飾りつけ、ひとつひとつすてきな作品が出来上がりました。最後に作品と一緒に記念撮影、みんな満足げな顔です。「ジュゴンとマナティはしっぽが違うねん」と話す子ども、しっかり聞いてたのね、と嬉しくなりました。未来のジュゴンサポーターを増やすためにがんばってます。資料館には貴重な剥製が展示してあり見応えありますよ、機会があれば訪れてみてください。



(関西 池側恵美子)

報告

### 第3回ジュゴン連続学習会



を天然記念物に指定して自主ルールによる海域管理を進める動きなど、さまざまな動きについて学ぶことが出来ました。

(関西 海勢頭型)

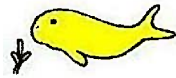
3月30日、SDCC 総会の前に第3回ジュゴン連続学習会を、NACS-Jの安部真理子さんを講師にお迎えして行いました。

’98年から続けられているリーフチェックの調査により、’98年と’01年の白化現象後の勢いあるサンゴの回復速度から、辺野古の海の豊かさが確認されていることや、その海をジュゴンが利用していることなど、データで分かりやすく説明がありました。それに対し、沖縄防衛局の環境アセスでは実績も無い海草の移植・造成や、埋立計画ではジュゴンの生活域での海砂の採取、運搬など、全く配慮の無い事業計画であることも示されました。

また、年間70億ドルの観光収入を生み出すオーストラリアのグレートバリアリーフ海中公園での、管理・利用例を詳しく解説戴いたあと、名護現地で昨年12月に設置されたエコツーリズム推進協議会や、チリビシのアオサンゴ



### 第4回ジュゴン連続学習会



## フィリピンの話からあらためて考えたジュゴン保護

5月11日、大阪で第4回ジュゴン連続学習会を行いました。海の生き物を守る会との共催で、同団体が行ったフィリピンジュゴンスタディーツアーの報告を中心に、ジュゴンについて学びました。海草の食み跡調査や野生のジュゴン、地元の人々の写真などをたくさん交えることで、参加者にも印象に残る内容でした。

海の生き物を守る会代表の向井さんは、開発によって、ジュゴンが食べる海草が影響を受けていることを、写真や数字などを使って説明されました。特にバナナプランテーションの海への影響は大きく、私たちが輸入しているバナナとジュゴンとのつながりを知りました。最後の沖縄ジュゴンの現状の話まで、参加者の方々は熱心に聞いていました。

日本のジュゴンの生息地も、フィリピンのジュゴンの生息地も脅かしている私たち。海と陸、私たちの生活と生物

のつながりを改めて考え、本当に大切なものを守っていかねければならないと感じた学習会でした。

(関西 正阿彌 (しょうあみ))



# 雨に泣く沖縄～こらむ・こらむ～

去る5月15日木曜日。安倍晋三首相がテレビに現れ、突然の記者会見。集団的自衛権行使容認の必要性を国民に訴えた。憲法を変えずに解釈を変えることで日米軍事同盟の役割を果たさなければなりません、とのこと。そのための法整備を急ぎ閣議決定しなければ、ある国からの軍事的脅威にさらされても自衛隊は手も足も出せない「国民の生命財産」を守ることはできないが、それでいいのでしょうかという。

安倍晋三は絵図を用い、その理屈を国民感情に訴え、いつにもまして早口で熱弁をふるってみせた。だがしかし、所詮は彼の情緒的に軽い独り猿芝居。まるで憲法違反を企む国賊が捕まらないように、そのための法律を急いで作らなければ大変な事態になる。そこで安倍内閣は勝手に憲法解釈を変えますよ、と言っているようなもの。

その軽薄さは今年の4.28に「日本の独立を祝う式典」で見せたときより質が悪く、危険極まりないのであるが、恐ろしいのは彼を支持する日本国民の軽薄さである。果たしてマスコミを始めとする日本国民は、このまま安倍晋三の企てを許してしまうことになるのか？それにしても5・15の日を選び、わざわざ国民に向かって

迫り来る危機を訴えて出るとは…。彼の狂気の本気度が分かる記者会見であった。

5・15とは何だったのか？私にとって5・15は復帰記念日ではなく、屈辱の日であった。42年前の1972年5月15日。その日の悔しさを忘れはしない。その日、那覇市民会館大ホールで「日本復帰式典」が行われ、屋良朝苗知事が額に深く皺を寄せて苦渋に満ちた挨拶を読みあげていた。そして一方の隣接する与儀公園では、どしゃぶりの雨の中で抗議集会が開かれていた。日本政府主導による復帰の欺瞞性に「怒りの拳」を突き上げる労働者学生島民市民。その悲しい光景は屈辱そのものであった。「沖縄を返せ」を歌った所で何処に帰ったというのか。「ガンバロウ」を歌い叫んだ所で、何を頑張ってきたといえるのか？あれから何も変わっていない。

そしてまた。今年の5・15県民大会は昨年より酷いどしゃぶりの雨。私の出番は中止になったが、そのかわり24日（土）那覇市民会館での「卑弥呼コードコンサート」で頑張ることにして、宜野湾の野外劇場を後にし、SDOCの原稿を書くことにした。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDOC 共同代表）



## おきなわ便り

### ☆バス停の出会い☆

梅雨真っ最中で、蒸し暑い日が続いている沖縄。バス停のベンチでパンを食べながらバス待ちをしていた時のこと。

イソヒヨドリが寄ってきた。可愛い♪人馴れしてるようで近くまで来て「パン」と目力で訴えてくる。「はい」とパンをちぎって投げる。素早くキャッチ！入れ替わりで別のヒヨドリが寄ってくる。同じくパンをあげる。次々とヒヨドリが来る??後ろの建物2階を見上げると、巣があり雛が3羽ほど口を開けてピヨピヨ鳴いている。夫婦交代でパンを調達に来ていたのだ！

☆感動☆  
バスが来た。  
パンが残っているのでバスに乗るかをためらう。バスが発進しようとしている。「これお願いします」「わかりました」思わず、隣に座っていた

女性と以心伝心。パンを託してバスへダッシュ。座って窓を眺めると、女性が手を振っていた。見知らぬ人でしたが、安心感が湧いてきて「ヒヨドリは大丈夫」と思えた。感謝とヒヨドリの成長を願いつつバス停を後にする。バスの運転手から「乗るか乗らないかはっきりしてください！」と喝(カツ)の言葉を頂いたが、顔はニコリ笑顔であった。(沖縄 仲村)



## 【首都圏】

- ◆6/8 (日) 「風人の祭」 13時～18時  
@上野公園野外ステージ
- ◆6/29 (日) 宮森630の会 文京区民センター
- ◆7/13 (日) 品川ちゃんぶる祭り 12時～17時  
@スクエア荏原・ひらつかホール チケット1,000円
- ◆7/19 (土) 海底ボーリング調査反対集会 14～17時  
@千駄ヶ谷区民会館 辺野古実行委員会主催



## 《 今後のスケジュール 》



## 【関西】

- ◆6/7 (土) 大阪南港 (咲洲) の環境月間イベント 11時～16時  
@ATC ITM 棟アトリウムなど
- ◆6/22 (日) おきなわ茶会 14時～16時 モモの家  
海江田登美子さん (沖縄戦体験者、大阪在住) のお話
- ◆6/19 (木) じゅごん茶話会 14時～15時半 京橋事務所
- ◆7/20 (日) じゅごんの里ツアー報告イベント  
@カシオペア (阪急京都線南方下車すぐ)
- ◆8/2-3 平和と民主主義をめざす全国交歓会大阪大会  
場所: 2日クレオ中央ホール、3日エル大阪ほか



### 沖縄の旅・こぼれ話① 赤嶺さん

今年3月の沖縄の旅1日目。宜野湾市の赤嶺和伸さんの自宅を訪問しました。目の前は普天間基地のフェンスです。案内して頂いた屋上からは広大な基地が見渡せました。「あそこが普天間第二小学校だよ」と指された場所は基地のすぐそば。「戦闘機が飛ぶと騒音で先生の声が聞こえず、そのたび授業が中断されるんだよ。子どもたちは勉強に集中できないし、健康被害も心配」と赤嶺さん。大阪では想像すら難しい日常、どれだけの時間が奪われているだろうかと思う。「オスプレイが配備されて、このままではますます子どもたちの成長が心配だ」と普天間基地のゲート前に立ち始めた赤嶺さん。今、オバマ大統領にハガキを送るプロジェクトに取り組みられています。今回のご縁で6/27～29のじゅごんの里ツアーの1日目に赤嶺さんの自宅を訪れ、お話を聴かせて頂きます。  
(関西 池側恵美子)

## ポストカードで、辺野古埋め立て反対を!

辺野古・大浦湾は生物多様性の宝庫。多くの人にとってもらおうと、ポストカードをつくりました。国内最大級のアオサンゴ群集、カクレクマノミ、オーストラリアのジュゴンの3枚セットで150円+送料82円です。お友だちへのお便りに、暑中見舞いに、このポストカードをお使いください。お申し込みは下記事務所まで。



## お願いします

## スタッフ派遣カンパ

8/31 に名護市議会議員選挙が告示されます(投開票は9/7)。東恩納琢磨市議の再選をめざしてスタッフを派遣します。ぜひカンパ協力をお願い致します。

**Editor's Note** 今年5月、北限のジュゴン調査チーム・ザンが、辺野古崎の大浦湾側で30本以上のジュゴンの食み跡を発見したという、うれしいニュースが届きました。食み跡は、沖縄防衛局の調査でも、去年もおととしも発見されています。他にも藻場はあるのだけれど、ジュゴンはあえてここを選んでいるのです。いのちはぐくむ辺野古の海。きっと未来に残していきますよ。  
(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL. 74 2014年5月27日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区土土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!